

**三菱ダクト用換気扇（脱臭機能付タイプ）**

グリルタイプ	着せ替えインテリアタイプ
形名	VD-20ZDS12-W VD-23ZDS12-W

**据付説明書**
**販売店・工事店様用**

据付けを始める前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

別冊の「取扱説明書」はお客様用です。必ずお渡しください。

■据付け、壁穴工事はお買上げの販売店・工事店様が実施してください。

■電気工事は電気工事士の方が実施してください。

■この製品は、居間・事務所・店舗の天井に据付けてください。

それ以外の用途には使用しないでください。故障の原因となります。

■形名によって据付方法が異なりますので、据付け前に形名をご確認ください。

■この製品には市販の埋込スイッチ、またはシステム部材のコントロールスイッチが必要です。

■他の屋外フードなどは三菱換気送風機組合タログをご確認の上、別途ご用意ください。

■電子式スイッチ（半導体制御による速調・温度・湿度・タイマースイッチなど）やホタルスイッチをご使用の場合は組合せ上、不具合の発生するおそれがありますので、ご使用の際はあらかじめご確認ください。

■接続ダクトは外形寸法図に示すダクト径の塩化ビニル管・アルミフレキシブルダクト・鋼板管のいずれかをご用意ください。


**1. 安全のために必ず守ること**

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区別して説明しています。

<b>警告</b>	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの	<b>注意</b>	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの
● 禁止	● 水ぬれ禁止	● 分解禁止	● 浴室での使用禁止

本文中や本体に使われている図記号の意味は次のとおりです。

● 禁止	● 水ぬれ禁止	● 分解禁止	● 浴室での使用禁止	● 感電注意	● 指示に従う
------	---------	--------	------------	--------	---------

**警告**

● 禁止	• ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切をしない 爆発・引火の原因。	● 感電注意	• 電気工事の際、裸線に接触しない 感電の原因。
● 水ぬれ禁止	• 製品に直接水やお湯、及び剤などをかけない ショート・感電の原因。	● 指示に従う	• 交流100Vを使用する 直流や交流100V以外を使用すると感電の原因。
● 分解禁止	• 改造や工具を必要とする分解はしない 火災・感電・けがの原因。 分解・修理は修理技術者のおいる販売店または当社のお客さま相談窓口にご相談ください。		• メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう据付ける 漏電した場合発火の原因。

**注意**

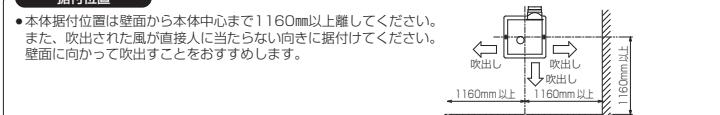
● 禁止	• 直接炎のあるおそれのある場所や有機溶剤・可燃性ガスのある場所には据付けない 火災の原因。	● 指示に従う	• 据付けの際は必ず手袋を着用する けがの原因。
● 台所・厨房・飲食店など、熱気や油煙が発生する場所には据付けない 本体・部品の落下によるけがの原因。	• 本体・部品の落下によるけがの原因。		• 本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に行う 落下によるけがの原因。
● 中性洗剤以外の洗剤・殺菌剤・消毒剤を頻繁に使用する場所には据付けない 本体・部品の落下によるけがの原因。	• 本体・部品の落下によるけがの原因。		• 部品の据付けは確実に行う 落下によるけがの原因。
● 浴室での使用禁止	• 浴室など湯気の多い場所には据付けない 感電・故障の原因。		• 電気工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う 接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因。

**2. 据付け前のお願い**
**注意**

● 台所・厨房・飲食店など、熱気や油煙が発生する場所には据付けない 本体・部品の落下によるけがの原因。	● 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。 ・傾斜天井には据付けないでください。 ・シャッター開閉不良、振動、異常音の原因となります。
● 中性洗剤以外の洗剤・殺菌剤・消毒剤を頻繁に使用する場所には据付けない 本体・部品の落下によるけがの原因。	● 壁面・天井材等に接する部材の使用については、地区により異なる規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公署（特に消防署）にご相談ください。 ● 高温（40℃以上）になるところには据付けないでください。早期故障の原因となります。

**据付けにあたって**

- ダクト用システム部材の使用については、地区により異なる規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公署（特に消防署）にご相談ください。
- ・ダクト用システム部材の上部を断熱材などで覆わないでください。早期故障の原因となります。

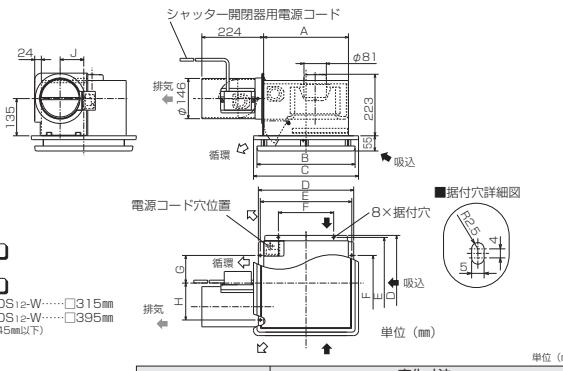

**天井・ダクト工事**

- 天井材は、振動・共鳴音防止のため强度のあるものをご使用ください。
- 排気ダクトの先端には、鳥などの侵入を防ぐためのペントキャップ、または雨水の浸入を防ぐための深形フード、外風が強いところでは耐外風フードなどのシステム部材を据付けてください。
- 次のようなダクト工事はしないでください。風量低下や異常音発生の原因となります。
  - ・極端な曲げ
  - ・多数の曲げ
  - ・ダクト接続口のすぐ下での曲げ
  - ・しづり
- 天井金具を使用する場合、製品の着脱には天井裏での作業が必要です。
- 天井裏での作業ができるよう製品の近くに点検口を設けてください。点検口がない場合、製品取替などで天井などを壊す費用は、お客様のご負担となります。

### 3. 外形寸法図

**[付属品]**

木ネジ	9本	据付ネジ (電気式シャッター付接続棒据付用)	2本
グリル	4本	電気式シャッター付接続棒	1個
コントロールスイッチ用	2枚	パッキン	1個
ネームカード			

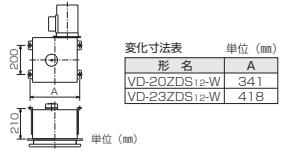


### 4. 据付方法

**1 据付け前の準備**

据付位置・壁排気穴位置を決め、市販の吊りボルト(M8)を4本埋込む。(右図参照)

1


**2 据付方法**

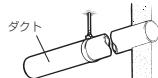
電気式シャッター付接続棒を本体に据付ける。

- 右図のように本体と引掛部のすき間にマイナスドライバーを差し込み、回して接続棒をはずす。  
**お願い**  
・接続棒を無理に引き抜かないでください。
- 電気式シャッター付接続棒の「本体側、上側」表示を上にして、接続棒に差し込む。  
**お願い**  
・電気式シャッター接続棒に貼り付けてあるパッキンが破れないよう注意してください。
- 左右2か所の付属の据付ネジ2本で締付ける。
- 接続棒を元通り本体に据付ける。

**2 ダクト工事**

壁排気穴から本体のダクト接続口までダクト配管する。

- ダクトはダクト接続口に力が加わらないよう天井より吊る。  
(力が加わるとシャッター開閉不良、風漏れの原因となります)

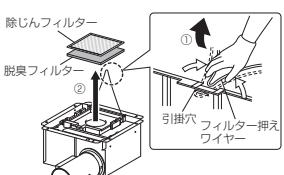

**3 本体を吊る**

(野縁を使用する場合は 野縁に据付ける場合 を参照)

1

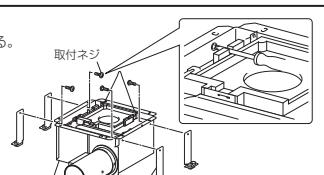
フィルターをはずす。

- フィルター押えワイヤーをつまんで引掛穴からはすす。
- 脱臭フィルター、除じんフィルターを静かに引出す。


**2 天吊具P-08TK(システム部材)を据付ける。**

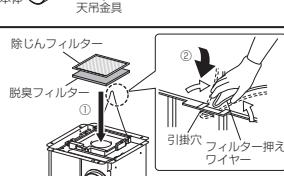
- 天吊金具を本体に引掛け内側から取付ネジで固定する。

2


**3 フィルターを据付ける。**

- 取りはずした逆の手順で据付ける。
- 脱臭フィルター、除じんフィルターを右図のように重ねて据付ける。
  - フィルター押えワイヤーを引掛穴に据付ける。

3


**4 本体を水平にし、天吊金具を吊りボルトに据付ける。**

- ナットがゆるまないよう市販のワッシャー・ナットにて確実な処置で固定する。

4

- フィルターを持って本体の据付けを行わないでください。(羽根にフィルターがあるあたり、異常音の発生や羽根・フィルター破損の原因となります)
- 下側のナットには緩み防止機能付ナットの使用や接着剤・緩み防止剤などにより緩み止めを施してください。

